

令和2年第4回市議会定例会

## 市長提案理由

議第163号及び議第164号

(令和2年12月15日提案)

ただいま上程されました「議第163号 令和2年度別府市一般会計補正予算(第10号)」及び「議第164号 令和2年度別府市一般会計補正予算(第11号)」の概要について御説明いたします。

大分県が発表した新型コロナウイルス感染症患者の発生状況において、本市北浜のスナックやバーなど複数の店舗で連日にわたって多数の感染が確認されています。

この発表を受け、直ちに、関係者と今後の対策について協議を行った結果、感染拡大の流れをここで断ち切る必要があるとの考えの下、業界側から感染者が多いとされる接待を伴う飲食店等に対し、自主的な営業自粛を呼びかけることとなりました。

事業者における自主的な営業自粛という重い決断に対し、市としても市民生活の安全、安心を確保するとともに、経済活動と感染拡大防止の両立が最大限図られるよう緊急対策を講じることを決断いたしました。

対策の内容は3つです。1つ目は、自主的に営業を自粛する事業者に対し、営業再開までの期間を支援するため、事業継続に対する支援金を支給いたします。2つ目は、営業を自粛した事業者が安心して営業を再開し、継続することができるよう従業員等に定期的なPCR検査等を行います。3つ目は、より高い感染予防対策の基準「別府モデル」を策定し、当該基準を満たしている店舗を公表するなど、感染症対策の徹底を図ってまいります。

また、これらの対策に加えて、関係団体と協力を図りながら、各店舗への感染症対策の呼びかけや人権に配慮した啓発活動を行うことにしています。

今回の補正予算であります。第10号及び第11号の補正額は、それぞれ6,449万円及び1億920万円の増額で、補正後の予算額は714億5,939万円となります。

第10号では、12月8日に閣議決定された国の経済対策を受け、新型コロナウイルス感染拡大の影響により生活が苦しい低所得のひとり親世帯を支援するため、年内を目途に臨時特別給付金を再支給することに伴い、同給付金の追加額を計上しています。

第11号では、接待を伴う飲食店等の自主的な営業自粛に対し、営業再開を支援するための事業継続支援金及び当該飲食店等における感染拡大防止を徹底するためのPCR検査等に係る経費を計上しています。

連日、感染者が確認され、短期間で感染が急拡大している状況です。経路が不明な感染も増加しており、事態が刻一刻と変わり、切迫する状況の中、ここで感染拡大を徹底して抑え込むという強い決意で対策に取り組んでまいります。

以上で、提出いたしました議案の説明を終わります。

何とぞ慎重審議の上、よろしくお願い申し上げます。